

交付運用報告書

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「日立外国債券インデックスファンド」は、このたび、第 21 期の決算を行いました。

当ファンドは、外国債券を実質的な主要投資対象として中長期的に信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とし、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

日立外国債券インデックスファンド

追加型投信／海外／債券／インデックス型

第 21 期

(決算日 2022 年 5 月 16 日)

作成対象期間：

(2021 年 5 月 18 日～2022 年 5 月 16 日)

第 21 期末(2022 年 5 月 16 日)	
基 準 価 額	22,332 円
純 資 産 総 額	15,873 百万円
第 21 期	
騰 落 率	1.4%
分 配 金 合 計	0 円

当ファンドは、約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めています。「運用報告書(全体版)」は、右記ホームページアドレスの「ファンド情報」から、ご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付を請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

Ⓢ 日立投資顧問株式会社

東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号

〈交付運用報告書に関するお問い合わせ先〉

企画総務グループ TEL：(03)6284-3610

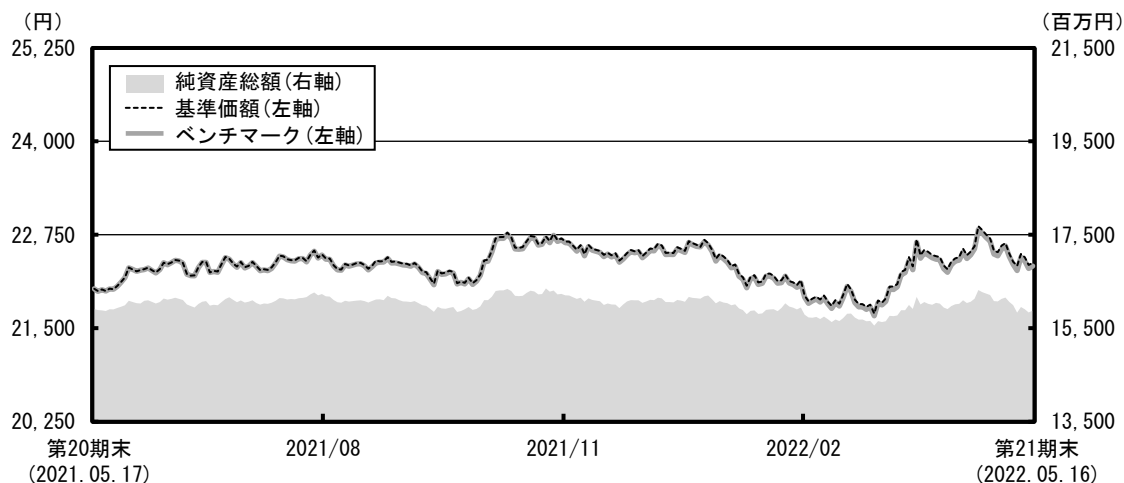
受付時間：9：00～17：00

土、日、祝日および 12 月 31 日～1 月 3 日を除く

ホームページアドレス <http://www.hitachi-im.co.jp>

運用経過

基準価額等の推移



※当ファンドは分配を行っておりませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。ベンチマークは、2021年5月17日の値が基準価額と同一となるように計算しております。

第21期首：22,028円

第21期末：22,332円(既払分配金0円)

騰落率：1.4%(分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

期前半は米欧金融当局の慎重姿勢から債券市場が堅調に推移したこと、期後半は国内外の金融政策の方向性格差などから、急速に円安が進行したことがプラスに影響しました。

<下落要因>

年明け以降、堅調な米国経済、インフレの加速、F R Bの金融正常化の動きなどから、世界的に金利が上昇したことがマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2021. 5. 18～2022. 5. 16)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	34 円	0.154%	信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は 22,362 円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.069)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.041)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.015	その他費用＝〔期中のその他費用〕÷〔期中の平均受益権口数〕
(保 管 費 用)	(3)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管
(そ の 他)	(0)	(0.000)	及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	37	0.169	

(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

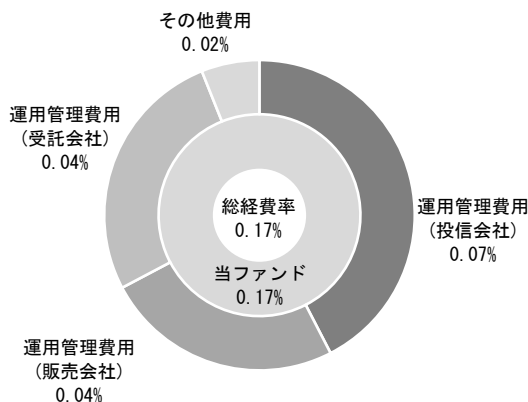
(注 3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 4) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

<参考情報>

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は 0.17%です。



(注) 当ファンドの費用は 1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

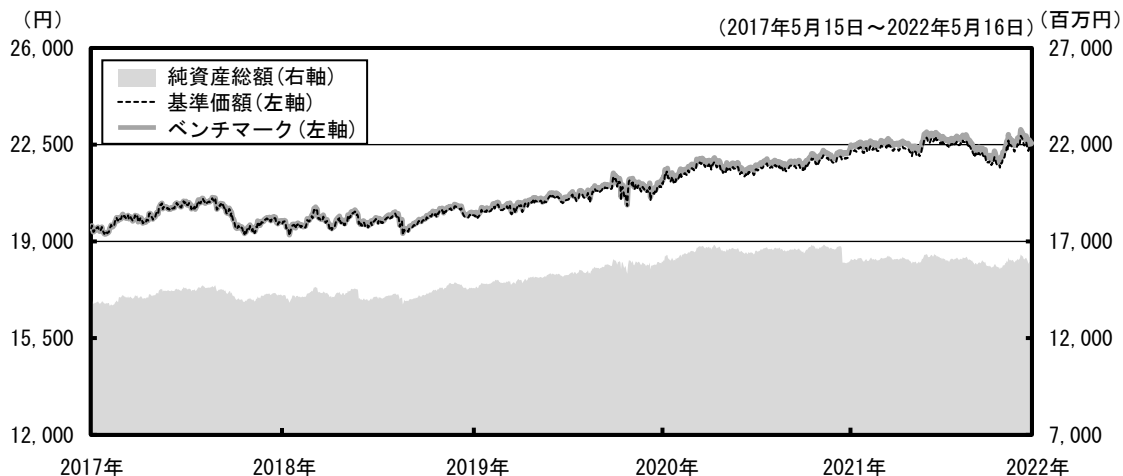
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移



※当ファンドは分配を行っておりませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

	2017年5月15日 決算日	2018年5月15日 決算日	2019年5月15日 決算日	2020年5月15日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月16日 決算日
基準価額 (円)	19,473	19,723	19,854	20,833	22,028	22,332
騰落率 (%)	—	1.3	0.7	4.9	5.7	1.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	1.4	0.9	5.1	6.0	1.6
純資産総額 (百万円)	13,948	14,253	14,516	15,815	15,910	15,873

(注1) ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。ベンチマークは、2017年5月15日の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注2) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

当期は、期初より欧米金利が緩やかな低下基調となる中、ユーロが対円で上昇したことから堅調な推移となりました。年明け後は、米国長期金利が急上昇し、債券価格は下落しましたが、米ドルが対円で大きく上昇したため、底堅く推移しました。結果、通期ではプラスの収益を確保しました。

米国金利

期初より、新型コロナウイルスからの経済再開にもかかわらず、当局が景気に慎重な見方を維持したことで、米国長期金利は概ね1%台半ばを中心としたレンジ推移が続きました。ただし年明け以降は、物価上昇の加速により利上げ観測が急速に高まり、短期ゾーン主導で金利が上昇しました。F R Bは3月会合で利上げに舵を切り、その後も大幅利上げを継続する姿勢を示したことから、長期金利も急激に上昇し、5月初には3%台に乗せる局面も見られました。

ユーロ金利

欧州中銀の慎重な姿勢に支えられ、欧州長期金利も米国同様12月までは安定推移が続きました。しかし、年明け以降は上昇に転じ、ドイツの長期金利もプラス圏に浮上しました。期末にかけては、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の上昇も加わり、金利上昇に拍車がかかりました。イタリア、スペイン等の長期金利も急上昇し、ドイツ国債との利回り格差はやや拡大しました。

<外国為替市況>

米ドル・円レートは、9月末まで110円を中心としたレンジでの展開が続きましたが、その後は米国金利上昇とともに、徐々に円安が進行しました。3月に入り、米国の利上げ観測が急速に高まる一方、日本銀行は大規模緩和継続の姿勢を明確にしたことから大幅な円安に振れ、一時130円台を記録しました。ユーロは、米国の利上げ観測から軟調に推移し、年明け以降はロシアのウクライナ侵攻から対ドルでは大幅に下落しました。一方、対円では3月以降に急上昇し、一時140円をつけましたが、その後反落し、結局小幅な上昇で期末を迎えました。

当該投資信託のポートフォリオ

<当ファンド>

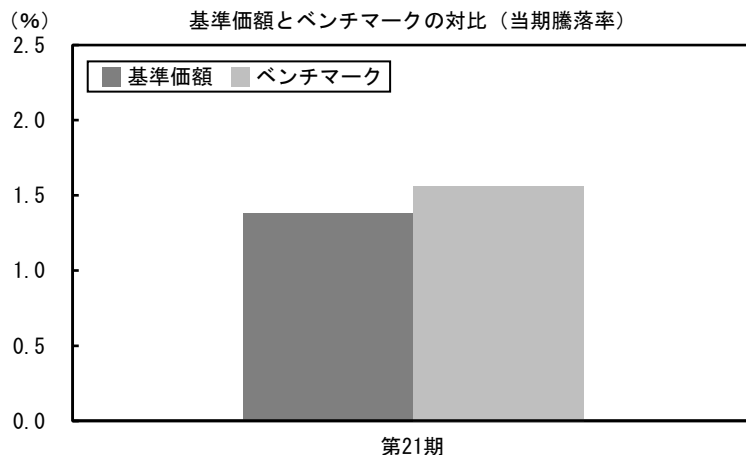
日立外国債券インデックスマザーファンドへの投資を高位に保つ運用を行いました。

<日立外国債券インデックスマザーファンド>

海外の国債を主要投資対象とします。具体的には、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、ベンチマークに連動する収益率の実現を目指すインデックス運用を行いました。

基準価額とベンチマークの差異について

当ファンドの基準価額は前期末の22,028円からF T S E 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)とほぼ連動して動き、22,332円で今期末を迎えました。通期の基準価額騰落率は+1.4%となり、ベンチマーク騰落率+1.6%にほぼ追随したパフォーマンスとなりました。当ファンドから信託報酬の支払いが行われたことがベンチマークを下回る主な要因となりました。



分配金について

運用による収益は、投資信託財産内に留保し、期中には分配を行いません。

今後の運用方針

パッシブ運用につき、投資するマザーファンドにおいては、ベンチマークに連動すべく適宜リバランスを実施してまいります。

お知らせ

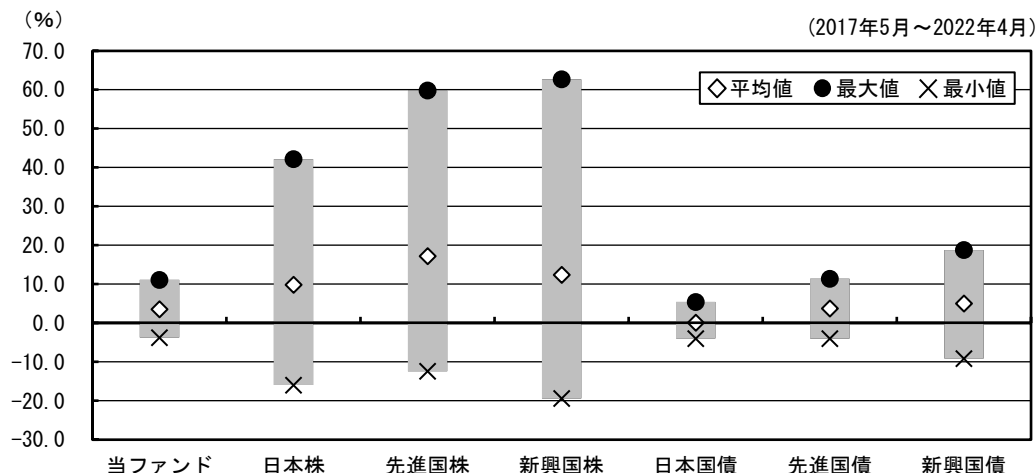
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	ベンチマークの動きに連動する投資成果を追求することにより、中長期的に投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	日 立 外 国 債 券 インデックスファンド	次の日立外国債券インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日 立 外 国 債 券 インデックスマザーファンド	国際機関債およびわが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	日 立 外 国 債 券 インデックスファンド	株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	日 立 外 国 債 券 インデックスマザーファンド	株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	期中には分配を行わず、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率(%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.5	9.8	17.2	12.4	0.1	3.7	5.0
最大値	11.1	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	18.7
最小値	△3.7	△16.0	△12.4	△19.4	△4.0	△4.0	△9.1

*2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債・・・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注1) 海外の指数は、各指数を基に、日立投資顧問が計算したものです。また、為替ヘッジなしによる投資を想定して円換算しております。

(注2) 各指数等に関する著作権等の知的財産権は、開発元もしくは公表元に帰属します(東証株価指数(TOPIX)：株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社、MSCI コクサイ・インデックス及び MSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、NOMURA-BPI 国債：野村證券株式会社、FTSE 世界国債インデックス：FTSE Fixed Income LLC、JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド：J.P.Morgan Securities Inc.)。なお、各社は当ファンドの運用に関し一切責任を負いません。

当該投資信託のデータ

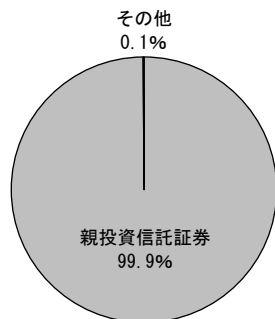
当該投資信託の組入資産の内容

●組入(上位)ファンド(銘柄)

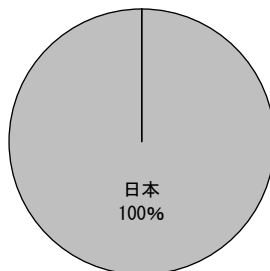
	第 21 期末
	2022 年 5 月 16 日
日 立 外 国 債 券 イ ン デ ッ ク ス マ ザ ー フ ァ ン ド	99.9%
そ の 他	0.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

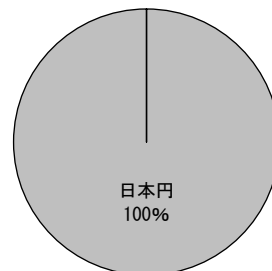
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注 1) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注 2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

純資産等

項 目	第 21 期末
	2022 年 5 月 16 日
純 資 産 総 額	15,873,015,259 円
受 益 権 総 口 数	7,107,838,365 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	22,332 円

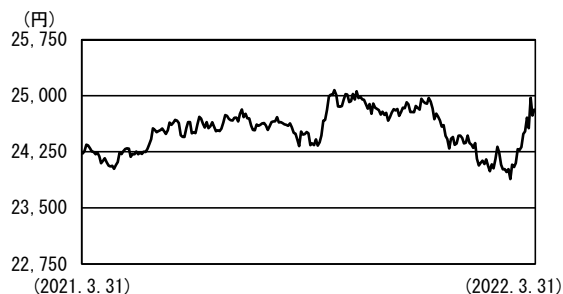
(注) 当期中における追加設定元本額は 1,225,896,229 円、同解約元本額は 1,340,651,888 円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

日立外国債券インデックスマザーファンド

(2022年3月31日現在)

●基準価額の推移



●上位 10 銘柄

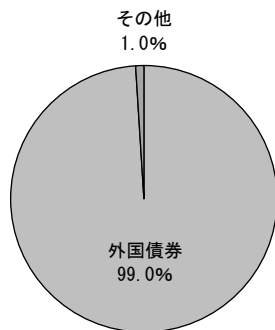
銘柄名	債券種別	比率(%)
2.500% US TREASURY N/B	国債証券	0.65
0.125% US TREASURY N/B	国債証券	0.64
0.875% US TREASURY N/B	国債証券	0.64
1.125% US TREASURY N/B	国債証券	0.59
0.375% US TREASURY N/B	国債証券	0.58
3.125% US TREASURY N/B	国債証券	0.53
1.750% US TREASURY N/B	国債証券	0.53
2.000% US TREASURY N/B	国債証券	0.53
3.125% US TREASURY N/B	国債証券	0.51
2.250% US TREASURY N/B	国債証券	0.51
組入銘柄数		612 銘柄

●1 万口当たりの費用の明細

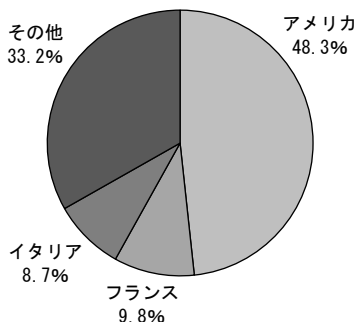
(2021年4月1日～2022年3月31日)

項 目	金 額	比 率
その他費用	4 円	0.015%
(保 管 費 用)	(4)	(0.015)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	4 円	0.015%

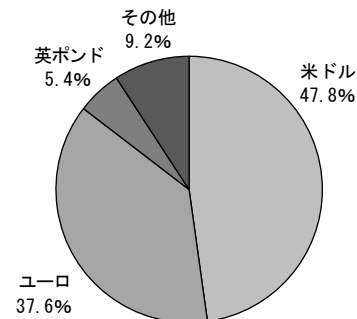
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年3月31日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。また、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。費用項目については前掲「1万口当たりの費用明細」の「項目の概要」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。